

ぶな

2023年6月号

NO.531



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

【巻頭言】

回想記

2023年5月 N尾Y一

あなたの趣味は何ですかとたまに聞かれることがある。若いころは「特に何もありません」と答えていました。しかし中高年以降は「山歩き」と答えるようになりました。やはり山歩き（山登り）だけが今でも続いているからかもしれません。

先日知人の娘さんが戦乱のスーダンから退避、帰国した。いつも気楽に山行を楽しんでいてこのようなことを書けるのも平和であればこそと有難いことです。

昔、学生らが大きな荷物を担いで階段を歩いていてその荷物が大型のキスリングであり登山のトレーニングをしていたのだと知ったのは少しあとでした。当時は山には全く関心がありませんでした。学生時代にクラブ活動ができるだけの体力はなかった自分ですが、歩いたり走ったりの単純な運動は割と好きでした。たまたまバスツアーで父親らと登った富士山から眺めた景色に感動して、山登りなら運動神経が悪くても何とかかなりそうと思ひ社会人になってから登り始めました。年に一度だけ一人での北アルプスへは夜行列車急行ちくまをよく利用しましたが殆ど座れた記憶がありません。デッキに立ち通しの時もあり時には通路に新聞紙を敷いて寝て行きました。時間とお金の節約のため往復夜行を利用することもありましたが、朝帰りですぐ仕事ですから今ならとても無理ですね。でもこのような便利な夜行列車が無くなったのは残念です。数年後からは友人らと毎年小屋泊やテント泊でアルプス縦走をするようになりました。

そのうち山登りの良いトレーニングになるのではと思ひ走り始めました。少し走り慣れてくると山登りよりも10kmやハーフマラソンの大会によく出かけました。フルにも挑戦してみました。後半ひざが痛くなり30km以降はかなり歩いて5時間以上かけてやっとゴール出来ました。それ以来いくらゆっくり走っても距離が延びると膝の後ろが痛くなります(腸脛靭帯炎か)。あまり無理をして痛めてしまうと仕事にも差し障るので走ることは減らしました。でも少しはトレーニングをして年に一度位は時間制限の緩い大会でフルは無理でもハーフを完走することが目標の一つです。

50歳過ぎて数名の同級生が急に山を始めたこともあり、彼らや地域の同好者と各地の山に登ったり、一人で比良、六甲、ダイトレの縦走大会によく参加しました。

60歳過ぎてから比良雪稜会にお世話になり、それまで殆ど経験がなかった雪山にも登ることができて会員の皆様と一緒に楽しませてもらい、あろうことに何の資格も知識もないのにリーダーまでさせていただき現在に至っています。

山の仲間が徐々に減っていく中をまだゆっくりペースなら歩けることに感謝せねばなりませんし、これからは比良山系の主要ルート踏破と山溪の「滋賀県の山」や「近江百山」のほか鈴鹿山系の未登頂の山を極力登りたいと思っています。

〈目 次〉

「巻頭言」	1
「目 次」	2

【例会案内】

- ・鈴鹿県境稜線を往く 武平峠～御在所岳～ハト峰峠～朝明駐車場 6月11日(日)・・・3
- ・福井/赤兎山 6月18日(日)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・柳生街道 柳生～忍辱山円成寺 6月25日(日)・・・・・・・・・・・・ 5
- ・立山～大日岳～称名滝 8月4日(金)～6日(日)・・・・・・・・・・・・ 6

【例会山行報告】

- ・鈴鹿県境稜線を往く 水沢峠～鎌尾根～鎌ヶ岳4月23日(日)・・・・・・ 7
- ・春の公開野点山行 若狭八ヶ峰 4月29日(土)・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ・八経ヶ岳～行者還岳 5月3日(水)～4日(木)・・・・・・・・・・・・・・ 10

【個人山行報告】

- ・残雪の潤沢カールと蝶が岳 5月1日(月)～4日(木)・・・・・・・・・・・・ 13
- ・長等山登山 1000回達成 4月24日(月)・・・・・・・・・・・・・・ 16

【定例会報告】

- ・第3回運営委員会報告 5月9日(火)・・・・・・・・・・・・・・ 17

6月予定表	20
-------	----

表紙写真(新緑の八ヶ峰) 撮影 K 藤 F 三男

〈例会山行案内〉

鈴鹿 県境稜線を往く

武平峠～御在所岳～ハト峰峠～朝明駐車場

日程 6月11日(日)

集合：堅田駅 6:30

人気の御在所岳と奇岩の国見岳を登り県境尾根をハト峰峠迄往きます。鈴鹿縦走の中核をなすコースです。600m以上の標高地点には山ヒルがないと言われています。長距離ですが県境稜線縦走路頑張りましょう。

コース 堅田駅 6:30 = (朝明駐車場配車) = 武平峠 9:49～御在所岳 11:35(昼食)12:05～国見岳 12:51～青岳 13:09～根の平峠 14:11～金山 15:17～羽鳥峰 15:54
～朝明駐車場 17:05 = 武平峠 17:35 解散

コースタイム倍率×1.2のペースで計画しています。

昼食時間 30分

距離 9.6 km 累積上り 815 下り 1168m

難易度 体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

装備：弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト
その他日帰り登山装備
塩水・ライター

申込先 H島 hirahiei@gmail.com

締切日 6月5日(月)

中止：前日9時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合12:00までに連絡します。

〈例会山行案内〉

福井/赤兎山 1629M

高層湿原と白山の展望台として知られ、今年の干支の山でもある福井・石川県境の赤兎山へ登ります。例年なら小原林道が開通しており駐車場のある登山口から小原峠に着くと左は大長山への道で赤兎山へは右の道です。途中の大舟山分岐からは経ヶ岳への縦走路です。左手に白山を眺めながら赤兎山を目指します。山頂から下ると赤池と呼ばれる高層湿原に着き近くには避難小屋がありこの少し先の笹原付近にかけてコバイケイソウやニッコウキスゲなどが見られます。下山は同じ道を引き返します。

日時 2023年6月18日(日)

集合 和邇川河川敷駐車場 午前6時20分 (JR和邇駅 6:25に寄ります)

行程 和邇川河川敷 6:20→10:00 赤兎山登山口 10:15～11:20 小原峠～12:20 赤兎山～12:50 赤兎避難小屋付近(昼食)13:20～13:45 赤兎山～14:25 小原峠～15:15 赤兎山登山口→19:30 和邇川河川敷駐車場

装備 日帰り装備一式 (昼食・水・地図・磁石・雨具・防寒具・ヘッドランプなど)

レベル 体力★★ 技術★★

距離 約6km 標高差:約500m 累積標高差:約600m

時間 約5時間見えています (コースタイム 約3.5時間)

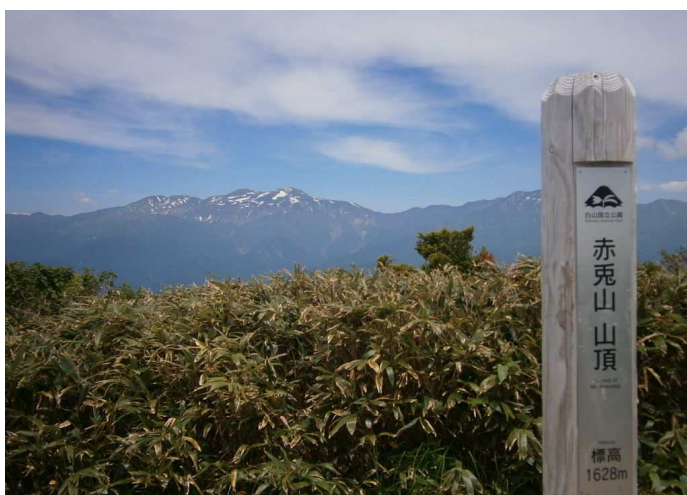
担当(申込先) N尾 [PCメール J25520@gmail.com](mailto:PCメールJ25520@gmail.com)

携帯 C メール 090-3355-0668

締切 6月12日(月)

雨天(予報)中止 中止の場合は前日17日13時までにメール連絡します

* 好天気なら白山がよく見えます



《例会案内》

柳生街道
柳生～忍辱山円成寺

剣豪の里柳生から円成寺へと続くコースを歩きます。家老屋敷・陣屋跡・おふじの井戸など柳生家に関する旧跡がコースの中に登場します。また、柳生石舟斎が刀で真っ二つに断ち切ったと伝わる巨石、一刀石も見て行きましょう。ここは、鬼滅の刃の聖地巡礼の地として人気のスポットでもあります。

日時 2023年 6月25日(日)

集合 近鉄京都駅改札前 7時50分

行程 柳生～家老屋敷～柳生八坂神社～旧柳生藩陣屋跡～一刀石～おふじの井戸～南明寺～野外活動センター～夜支布山口神社～円成寺(15:30)

距離 10km 時間 5時間半(含休憩)

レベル ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆

装備 昼食・飲料水・その他日帰り装備

担当 I井 パソコンメール titoi@zeus.eonet.ne.jp

携帯電話 090-9253-5532

締切日 6月19日(月)

中止する場合は、前日18日の13時までにメールにて連絡します。

〈例会山行案内〉

2023年8月4日(金)～6日(日) 立山～大日岳～称名滝

宿泊予約が必要なため、早めに案内させていただきます。初日は3000mを体験できる人気コース。2日目と3日目は室堂周辺と違い比較的静かに山歩きを楽しむことが出来るコースです。総じて手軽にアルプスを楽しむことが出来るルートです。ケーブルと高原バスが混雑する時期です。初日、室堂到着が遅れた場合や雨天の場合は、雄山縦走はせず、雷鳥沢経由で剣御前小屋に向かいます。

日程 : 8月4日(金) 立山駅7:30 == (ケーブル・高原バス) == 8:30 室堂
室堂出発9:00 - 10:20 一の越山荘 -
11:40 雄山 - 12:10 大汝 - 13:20 真砂岳 -
14:50 別山 - 15:20 剣御前小屋(宿泊)
5日(土) 剣御前小屋7:30 - 8:40 鞍部 - 11:00 奥大日岳 -
12:20 七福園 - 13:20 大日小屋 - 14:05 大日岳 -
14:30 大日小屋(宿泊)
6日(日) 大日小屋8:00 - 10:00 大日平小屋 - 12:10 称名滝
称名滝13:10 == (バス) == 13:25 立山駅(解散)

担当 : I 東

集合場所 : 8月4日(金) 立山駅ケーブル乗場7:20

富山市で宿泊の場合、電鉄富山駅6:09発、7:14立山駅着の電車があります。

申込先 : 伊東 (Email) itou_s@grape.plala.or.jp (携帯) 090-7754-3878

締め切り : 2023年6月末

5月17日現在の申込者は私を含め11名です。宿泊予約できなければ申込締め切りとします。

宿泊先 : 剣御前小屋、大日小屋共に稜線上にあり、入浴はできません。

インシュラフを持参してください。

テント場はありません。

〈例会山行報告〉

鈴鹿県境稜線

水沢峠～鎌尾根～鎌ヶ岳

日 時：2023年4月23日（日） 晴れ

参加者：CL:H島（記録）・SL:N尾・SL:K原・SL:H部史・K藤・H浦・K林・
N村・S水・K嶋(写真)・O村益・O村智・H部美・T中利・F野
計15名

行 程：琵琶湖大橋米プラザ 6:40＝宮妻峡キャンプ場駐車場 8:30～出発 8:35～水沢峠
登山口 9:20～水沢峠 10:25～水沢岳 10:58(昼食)11:50～鎌尾根～岳峠 13:33～
鎌ヶ岳 13:45～岳峠～カズラ谷道分岐～カズラ谷登山口 16:23 宮妻峡キャン
プ場駐車場現地解散 16:35

宮妻峡キャンプ場入口大駐車場に8時30分到着した。登山準備とコース説明を終えて宮妻峡の林道を45分程歩く。水沢峠登山口道標を右折して山道に入り水沢峠に向かう。峠近くに咲くミツバツツジに励まされジグザグ登るとようやく峠に出た。

眺めの良い水沢岳の広い山頂で昼食。山頂からは鎌ヶ岳の鋭鋒が迫ってくる風景が望まれる。昼食後、いよいよ鎌尾根の核心部分に取りかかる。「キノコ岩」と呼ばれる風化した花崗岩群を下り、衝立岩をトラバースし岳峠への鞍部に出る。頂上直下の岩峰を這い登ると祠のある鎌ヶ岳頂上に出る。集合写真を撮り鈴鹿の大きく広がる展望を楽しむ。

岳峠まで戻りカズラ谷コースを下山する。途中大きな転落音がし、谷底へ落下していく水筒。「岩稜地帯の登下降時は外部ポケットに入っているものは全てザックの中に入れておく」との先輩の注意を思い出す。

大きな滝を見てカズラ谷両股出合に下り5分程林道を下ると駐車場である。計画ピッタリの時間に無事下山できた。



〈春の公開野点山行報告〉

若狭八ヶ峰 800.1m

〈日 時〉 2023 年 4 月 29 日(土) 天候：晴れのち雨

〈コース〉 堅田駅・小野駅・和邇駅=(貸切バス)=蓬莱駅・木戸・南小松=小浜市=おおい町・八ヶ峰家族旅行村・染ヶ谷登山口～染ヶ谷分岐～八ヶ峰山頂手前標高 737m(昼食・野点)～八ヶ峰山頂～小松原林道出合～石碑コース登山口(堂本)=(貸切バス)=南小松・木戸・蓬莱駅=和邇駅・小野駅・堅田駅

〈参加者〉 1 班 CLN 村高 SLN 尾 K 保田 T 中啓 Y 崎 N 村(記録) 一般 6 名
2 班 CLK 藤 SLI 東 K 嶋 H 浦 I 井 Y 口弥 S 水 一般 5 名
3 班 CLH 部史 SLH 島 H 部美 O 村益 O 村智 F 野 K 藤 一般 4 名
4 班 CLK 原 SLH 池 A 本 K 林 T 中利 F 川 G 阿弥 一般 4 名
計 会員 27 名 一般 19 名 合計 46 名

7:30 堅田駅出発。曇り時々雨の予報が、前々日に晴れのち雨、夕方以降雨予報に変わり実施決定。バスは満員で賑やかな話し声が聞こえる。途中ピックアップをする。バス車内で会長より地図の配布・コースの説明、濱野さんからの差し入れ分配、一般参加者の班分けと点呼。一般参加 1 名欠席、全員で 46 名。

9:16 若狭おばま道の駅。トイレ休憩と受付。

10:07 八ヶ峰家族旅行村到着。降車後、会員は共同装備品を受け取る。一般参加の方の靴底がはがれ応急処置を行う。処置を待つ間、駐車場で準備体操をする。

10:34 染ヶ谷登山口を出発。林道を歩く。楽しげな話し声、笑い声が聞こえる。30 分ほど歩くと急坂の登山道に取り付く。

11:30 班ごとに 5 分ほど休憩。風が出てくる。会長が靴の応急処置をされた方の具合を確認されていた。大丈夫とのこと。イワカガミの花が咲く。

12:02 染ヶ谷分岐到着。休憩。ブナ林の新緑がうつくしい。1 班はスタート時に出来ていなかった自己紹介をする。

12:26 八ヶ峰山頂手前標高 737m 到着。強風のため、山頂でなく手前の少し開けた場所で昼食をとり、野点を行うことにする。

12:48 野点の準備。コロナで 3 年半ぶりの野点。雨がポツポツ降り出す中、赤い毛氈を敷き、女性陣の素早い連携でお茶を点てる。浮御堂柄の落雁も配られる。皆さん笑顔でお茶を楽しむ。

13:22 かっぱを着て、野点会場出発。

13:34 八ヶ峰山頂到着。雨は上がり、山々が見渡せる。班ごとの写真・全体写真を

撮る。知井峠(坂)経由で堂本に下りる予定をしていたが、雨の心配があるため、ショートカットで山頂より尾根を堂本方面へ向かう。道中、イカリ草、イワカガミが咲く。
14:04 衣服調整。暑い。雨は大丈夫そうなのでかっぱを脱ぐ。晴れ間も見られる。
14:19 足がつった方がおられ、しばらく待つ。
14:27 知井坂経由の下山道との出合到着。ウワミズザクラが咲く。5分休憩。シャクナゲ・ガマズミも見られる。
15:08 巡視路分岐到着。休憩。
この先ゴールまで倒木が多かった。柵を抜けゴール手前、藤の花が咲き甘いいい香りに癒された。
16:05 石碑コース登山口到着。目の前に貸切バスが待ってくれている。バスに乗り込み、八ヶ峰家族旅行村へ戻りトイレへ。雨が本格的に降り出す。
17:10 若狭おばま道の駅到着。トイレ休憩。お土産を購入されている方もおられた。
18:00 バス車内で副会長締め挨拶。皆さんおつかれさまでした。

入会してから日が浅いため、わたしは初めての公開野点山行でした。自然の中でも赤い毛氈を敷くだけで、本格的なお茶会の雰囲気がありました。そして、女性陣のテキパキとした連携に見惚れてしまいました。いつもなら落雁も食べてお抹茶を楽しむというゆっくりとまったりとした時間を過ごされているそうですが、今回は雨が心配なため、のんびりすることができませんでした。次回の野点が楽しみです。(記録：N村)



八経ヶ岳～行者還岳

日程 2023年5月3日(水)～2023年5月4日(木) 晴れ

参加者 CLN尾 SLH島 H浦 I井 K藤 F野 K原 K林(記)

行程 唐崎6:00－行者還トンネル西口駐車場9:40 10:00～奥駆道出会11:00

～弁天の森11:33(～12:05 昼)～聖宝ノ宿跡12:33～弥山小屋13:30～

弥山山頂13:38～小屋14:00～八経ヶ岳14:20(～14:40)～小屋15:05(泊)

登山開始は10時、登山口(1110m)からまずは奥駆道出会(1493m)が目標。前後に登山者続々、譲ったり譲られたりの時間が歩き始めの体に適度な休憩となる。ひと汗かいたころ主稜線にでました。風を感じて気分爽快。次の目標は聖宝ノ宿跡(1557m)。林のなかの歩きやすい尾根道、幾筋も踏み跡がついて人気の山であることを実感。途中にある弁天の森(1601m)で昼食。その後30分足らずで宿跡に到着。ここから弥山小屋(1876m)までは聖宝八丁と呼ばれる急坂、木の階段が増えてきます。空腹はつらいけど食べたら食べたで体が重い・「階段嫌い」「しんどー」とぐちぐち言いつつ登っているとヘリの音が近づいてきました。この後二時間ほど弥山上空を周回するように飛んでいたのは行方不明者の捜索だったようです(3日夜に無事下山)。爆音に気が紛れるうちに登りきった弥山小屋、を通過し数分先の弥山山頂へ(1876m)。これから行く八経ヶ岳(1915m)の雄姿を間近に確認して小屋に戻り、(K原さん以外は)ザックを預け空荷で向かいました。昼寝の人もいるくらい穏やかな山頂からは大峰の山々、大台ヶ原まで展望が素晴らしかったです。のんびり小屋に戻ってもまだ15時、夕食の17時まで外のテーブル席でゆとりの乾杯タイム、マスクのない小宴会は解放感抜群でした。

さて山歩きとは別にこんなこともありました。①唐崎をいざ出発の6時、K藤さんが「あー！スマホ忘れた！」(でも出発)。②奈良に入ったあたりで先に行くN尾車を見失う、連絡を取ったところ別の道を走っていることが判明(大峰山脈を挟んでN尾車は西側、H島車は東側を南下)。ナビが迷う新道続々の奈良！恐るべし。③ほぼ同時刻駐車場に到着するも満車と言われうろたえる。が「宿泊ならあと二台OK」とのこと(よかった)。④小屋で同室になったツアー客が朝の3時に室内蛍光灯点灯！ピッカー！しかも消さずに出発(ひゃ～)。なこともありましたが弥山小屋は清潔で、若くて元気で明るい小屋番さん達が終始笑顔で応対してくれました。一泊二食8500円です。ずっとずっと再訪したかった弥山小屋、願いが叶いました。心から感謝です。

2日目(5月4日)晴

早朝3時半ころ、同室の向かい側に寝ていた人たちが、部屋の電灯を点け、ごそごそ

と出発の準備を始め、4時頃出て行った。出発準備は仕方ないが、部屋の電灯を点けるのは、ちょっとやりすぎ、ヘッドランプで対応してほしかった。おかげでまぶしくて寝られない。寝ているのか寝ていないのか分からない状態で、起床時間の5時になった。6時朝食。出発予定は6時であったが、朝食が6時からなので、少し遅れて弥山小屋（6：40）を出る。昨日登って来た道を、聖宝の宿跡（7：30）、弁天の森（8：00）と、奥駆け出合（8：26）まで戻る。ここから行者還岳を目指す。この道に入ると、出会う人がほとんどいなくなる。

昨日登った弥山・八経ヶ岳も眺められ、さらに大普賢も展望の中にあり、好天に恵まれ、コバイケイソウの群生の中を気持ちよく歩ける。

一の峠（8：52）、しなの木出合（9：10）。予定では、行者還岳まで行き、奥駆け出合まで戻って、そこから昨日来た道を登山口まで引き返すことになっていたが、この「しなの木出合」から登山口の行者還トンネル西口に降りられるので、帰りはここを降りることになった。もともと、この道の下山は急な傾斜で、気を付けて降りないといけないということで、予定では昨日の道を引き返すとしていた。しかし、我々なら大丈夫との一言で、ここを下山道にすることに決定。

しなの木出合から P1458（9：35）など、いくつかのピークをアップダウンしながら行者還小屋に到着（10：25）。ここにザックを置いて行く。小屋から少し行くと、急な危なっかしい木の階段あり。登りは良いが、下りは怖そう。行者還岳到着（11：00）。下りは慎重に降りる。行者還小屋着（11：35）。ここで昼食。

食後、またまたアップダウンを繰り返しながら、しなの木出合まで戻る。ここから、登山口に向かって降りる。下山道が少し分かりにくいのと、急な傾斜で慎重に降りる。

50分ほどで登山口の行者還トンネル西口に帰り着く（14：25）。予定よりかなり早く降りられた。道の駅「吉野路黒滝」にて解散。

I 井 記

【一口感想】

GWの中、お天気に恵まれての山行になりました。やっぱり登山は、お天気次第。空は青く新緑も眩しく、気持ちもルンルン、八経ヶ岳は大パノラマ、撮影大会。

K林さんがH島さんとF野さんの誕生日バームクーヘンをサプライズプレゼント！

T子さん流石です。

2日目は予定に無かったショートコースを地図とYAMAPを確認、危険回避しながら無事下山。楽しい山行をありがとうございました。

H 浦



行者還岳



<個人山行>

残雪の涸沢カールと蝶ヶ岳

日 時：2023年5月1日(月)～5月4日(木)

参加者：K 嶋、S 水（記録）

行 程：5/1 大津出発 0:00～名神・東海北陸道・中部縦貫道高山 IC～高山タクシー駐車場
4:30-40～上高地バスターミナル 5:10-25～河童橋 5:35～明神 6:15-30～徳沢 7:20-30
～横尾 8:30-9:00～本谷橋 10:15-50～涸沢カール 13:30(幕営)

5/2 涸沢カール 10:35～本谷橋 12:15～横尾 13:30-55～徳沢キャンプ場 15:00(幕営)

5/3 徳沢キャンプ場 6:30～横尾 7:25-40～槍見台 8:05-10～主稜線 10:55～蝶ヶ岳 11:15-
20～蝶ヶ岳ヒュッテ 12:10-40～蝶ヶ岳 12:45-50～妖精ノ池 13:20～長堀山 13:50～徳
沢キャンプ場 16:30(幕営)

5/4 徳沢キャンプ場 9:30～明神 10:35-45～嘉門次小屋 10:55-11:45～上高地バスター
ミナル 13:10～大正池 13:30-40～平湯温泉入浴後帰滋

5/1 今年も残雪期の涸沢へ。今回は“モルゲンロートが見たい！”とテントを担いで涸沢まで登ることにした。日が変わるとともに出発し4時頃に平湯に到着。すぐにタクシーも来てくれて釜トンネルでしばし待機。上高地には一番乗り！！重い荷物を担いで出発。去年は横尾でテントを張ったがほぼ平地にもかかわらず重さに体が曲がってしまい、なかなか歩けなかった苦い思い出が。今回は涸沢までの挑戦に不安いっぱいだが行くしかない！横尾までは無事到着。本谷橋に向かうが、なんと橋が架かってない。こんなこともあるんだ。ここでアイゼンを履いていよいよ涸沢まで。今年も夏道にルートが切つてある。今回のザックは20キロの重さ。荷物が重く肩にのしかかり担いだけで全力で走った後のように呼吸が荒くなる。ずっと急登で涸沢ヒュッテのこいのぼりが見えるもなかなか歩が進まない。100歩ほど歩いては止まり、知らないおじさんと励まし合い、へろへろになりながら何とか涸沢に到着。パワーを使い果たしてしばらくは何もできなかったけど風が強まりテント設営が大変。川嶋リーダーが休む間もなくスコップで雪の整地を始めてくれる。私も頑張らなくては。強風に備えて周りがしているように、雪の塊を切り出して囲いを作っていく。重たいけどスコップ、なかなか面白いかも。ペグもうまく刺さらないので横にして雪で固めたり、ストックやピッケルなども使いながらテントをしっかりと固定した。長い時間かかってやっと完成。晴れて名物おでんで乾杯。けど寒さですぐにおでんが冷たくなる。温かいものが食べたくて棒ラーメンをがつつり食べて、焼酎のお湯割りであったまって就寝。始終パラパラと雪やアラレが降り強風の中、疲れているので爆睡。モルゲンロト、無理かなあ…

5/2 4時半ごろ周りがガサガサ、みんなモルゲンロートを待っている。5時前、少し

明るくなってきて 5 時過ぎに念願のモルゲンが！！なんて素敵。春は色が薄いらしいが見られて満足。頑張ったご褒美かなあ…。朝は得意のお雑煮を食べてテントの撤収。テント場を元通りにするのに時間がかかる。またもやスコップが大活躍。おなかが減ったので山小屋でラーメンを食べて、名残惜しいけど下山。今日のテ場所は徳澤。黙々と進み 3 時ごろ到着。まずはビールで乾杯。テントを張って徳澤のカレーとビールで早い夕食。ここはキャンパーもカレーやおでんの予約ができる。今回は食事を山小屋にずいぶん助けてもらえてありがたい。テント内で乾杯して早々と就寝。またまた爆睡。

5/3 今日にはテントに荷物を置いて軽荷で横尾から蝶ヶ岳に登る。お雑煮を食べ、6時半に出発。荷物が軽いとめっちゃ歩きやすい。今日もいい天気。槍見台から槍ヶ岳が顔を出した。途中でアイゼンを履き急登を登る。前を歩くのは緊張する。稜線に出ると雪はなくアイゼンを外す。風がとてもきつい。穂高や槍ヶ岳の絶景が見られて感激。やっぱり何回見てもいいなあ。蝶ヶ岳まで進んで常念岳の雄姿を見て、穂高連峰に応援してもらいながら蝶ヶ岳に向かう。途中、ヒュッテでもつ鍋やスープを飲んでお腹を満たし蝶ヶ岳山頂へ。絶景の山々を背景に記念写真を撮って名残惜しく長堀尾根に向かう。妖精の池を通りひたすら下山。展望もなく長く感じた。やっと下山したらテントの数の多さにびっくり。さすがGW 真っ只中。徳澤のソフトクリームで乾杯し今日はおでんをゲットして乾杯。その後、パスタを茹でてがつつり夕食。明日は帰途に就くだけ。おやすみなさい。

5/4 またまたお雑煮を食べて、テントを撤収。いつものことだが気圧のせいか、顔が腫れてパンパン、めっちゃ不細工。今日はせっかくなので明神から橋を渡り、上高地を散策して帰ることとする。橋の付近にお猿さんがたくさんいた。嘉門次小屋で 40 分待っていわな定食をいただく。頭からしっぽまで完食。岳沢湿原を楽しんで上高地まで戻った。いつものタクシー運転手さんが大正池で写真を撮ってくださった。天候に恵まれハードやけど充実した 4 日間を過ぎて平湯でお風呂に入り、さっぱりした後、いつものお蕎麦屋さんでお蕎麦を食べて、無事、家に戻った。4 日間、食べ続けたので当然のように体重は増加！！残念。

<一口感想>

GW 時の涸沢は 3 年連続となるけど、昨年までの軽荷で日帰り登るのと違い、今回はモルゲンルートを見るためにテント担いで登った。夕方から朝方まで強風とアラレの攻撃でテントが飛ばされないか心配で心配で…。それでも明るくなるころには収まってくれて、素晴らしいモルゲンルートを見ることが出来た。感謝、感謝！翌日の蝶ヶ岳もお天気に恵まれ、槍・穂高の見事な稜線を見ることが出来、大満足な 3 泊 4 日となった。(K 嶋)



長等山登山1000回達成

昨年末の総会で「長等山登山900回達成」の表彰状を頂きありがとうございました。

しかしその時はまだ900回に到達してなくて、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。その後、12月30日正式に900回を達成し、今年4月24日に1000回を達成することができました。皆さんの激励とご支援のお陰と深く感謝しています。

思い起こせば3年前の4月に、日本中にコロナウィルスの感染が広がり、外出することが制限させる事態になり、自宅に籠る日が多くなりました。しかし、高齢者が運動不足になることは身体にとって別の問題が起こるのではないかと思い、何か体力を維持する方法はないかと考えていました。そんな時に知人から長等山の存在を知らされました。歩いて15分ほどの場所に手頃な低山がある「そうだ！この山に登ってみよう」と思いました。初めの内は天気の良い日に、気の向いた時に登っていましたが、山頂付近に「記録ノート」があることを知り、登頂した人が日時、名前、回数を記入していました。ちょっと中を覗いてみると500回とか800回とか記入されており、自分も挑戦してみようという気になりました。

ところが話を聞いてみると、回数の数字は千の位が省略されていると言うのです。本当は2000回、3000回以上の方がいっぱいいるというのです。私は益々意欲が湧いてきました。その日から毎日登山を決断したのです。気の向いた日だけ登っては残り少ない人生で追いつけないと考え、その日から毎日毎日、天候に関係なく登り始めました。幸いコロナ禍で旅行に出かけることもなく、朝早く登れば何か予定があっても下山してから出来るので支障なく登れました。その結果、丸三年目の今年4月24日に1000回達成となりました。

この間、大きな怪我也も病氣もせず登れたのは幸運でした。ただ、一度だけコロナに感染して10日間自宅療養をさせられた時は休まざるを得ませんでした。支えてくれた家族や、励ましてくれた仲間がいたことも忘れる訳にはいきません。

幸いコロナ禍の三年間に健康で過ごせたことは山登りのお陰で、体力も落ちることなく、逆に強くなったように感じています。マラソン大会に参加したり、卓球の試合にも出場できたりで、コロナも悪い事ばかりではないと思います。これからも雪稜会の皆さんと楽しい登山を続けていけたらと思っています。

K 藤 F 三男



2023年度第3回 運営委員会報告書

出席：N村、A本（記録）、N野、K林、K藤、F川、N村、T中利、H野
欠席：F野、K嶋、I東

場所：比良雪稜会事務所

日時：2023年5月9日（火）19時30分～21時15分

1. 春の公開野点山行の報告

1) 参加者；会員27名、一般19名 合計46名

一般参加者1名当日欠席

2) 山行報告

天候は一時パラパラときたが、下山まで本降りにならず。出発時1名靴底剥離あり（テープ、結束バンド等で補修）。途中1名脚攣り（軽症）。1名雨具なしあり。いずれも一般参加者。

・時間的に知井峠を経由せず、八が峰から直接下山することで雨に会わずに済んだ。

・久しぶりの野点で色々問題あった。

① 茶筌傷み多く、次回は新しいものを用意必要。

② 今回キッチンペーパーを使ったが、吸水性に難あり。

③ バーナー今回1台→2～3台あったほうが良い。

④ 今回マイ茶碗導入したが、管理が難しいため、次回は導入しない。

・収支予測；約3,000円赤字

2. 清掃登山について（6/4開催予定）

1) 参加申し込み状況（5/9現在）

①コース（坂下～小女郎池） 会員2、一般6（内2名山友会）

②コース（栗原～権現山） 会員4、一般7

・②コースについてタクシー会社に問い合わせ（登山口まで乗車できるか、何台予約できるか）（近藤氏から問い合わせ）

・一般参加者募集

チラシ配布→①江若交通、びわ湖バレイ②市民センター（和邇、木戸、小野）

・準備会

6/3（土）10時～事務所にて。お手伝いできる方募集します。

濱野リーダー部長よりリーダー部員へ呼びかける。

リボンを付けるよう準備する。

3. 夏原グラント助成金贈呈式出席報告（A本）

4/16 クサツエストホテルにて第12回「2023年度夏原グラント」助成金贈呈式に出席し、①65,000円贈呈を受け、②活動事例発表を行い、清掃登山、比良飲み水調査、放射線測定について当会の取り組み報告を行いました。③その後の懇親パーティーに出席し、N原理事長、N塚事務局長、および同テーブルの方と名刺交換を行いました。

4. 「ハイキングレスキュー講習会」に関して

滋賀県連は現在「ハイキングレスキュー講習会」を11/12(日)に実施する方向で進めている。内容については4/2に実施された近畿ブロック搬出技術講習会と同内容を考えており、同講習会に出席した本会近藤氏にスタッフとしての協力参加の依頼があり、K藤氏参加了承。当会としては当日の例会山行を組まず、こそっての講習会参加を会員に呼びかける。内容的に、普段の山行にも役立ち、セルフレスキューとして身に付けておきたい技術です。詳細決まり次第案内するので、積極的に参加を検討してください。

5. 各担当より

- ・リーダー部、遭難対策・技術アップ、HP、会計、労山基金、事務局：特になし
- ・自然保護；6/17～18全国連盟「自然保護担当者会議」が予定されており、近藤氏参加したいが、滋賀県連からの案内がない。→T中理事から県連に確認する。県連ニュース5月号に「11月初めに県連の放射線測定山行を実施予定」とあるが、当会も11/初旬に飲み水調査・放射線測定を実施しており、当会とぶつからないよう調整してほしい。（県連に申し入れ必要）→T中理事から県連に確認する。
- ・機関誌；「ぶな7月号」からコロナ前のやり方に戻す（事務所にて、編集メンバー全員で、印刷物で会員配布）

6. 県連報告

1) 第3回理事会（ZOOM）は4/19（水）に実施された。

議題1. 清掃登山進捗状況

議題2. 2023年版「勧誘チラシ」800枚完成。清掃登山チラシと同封して自治体に郵送済

議題3. 初級登山教室実施状況

議題4. 初級読図コース実施状況

議題5. 各部からの報告

- ・教育遭対部

11/12「ハイキングレスキュー講習会」実施決定。各会事務局長を通じてスタッフをお願いできる人の参加を要請する。

議題 6. その他

7. その他

- 4/29（土）に事務所にエアコンが新しく設置されました。
- 交通費は 35 円/km です。
- 会員動向：現会員数 41 名。

次回 第 4 回運営委員会は 6 月 13 日（火）19 時 30 分からです。



2023年6月予定表

1	木		19	月	
2	金		20	火	第3回リーダー部会
3	土		21	水	
4	日	清掃登山 南比良2コース	22	木	「ぶな」原稿締切
5	月		23	金	
6	火		24	土	
7	水		25	日	例会山行 柳生街道 柳生～忍辱山円成寺
8	木		26	月	
9	金		27	火	
10	土		28	水	
11	日	例会山行 鈴鹿縦走(武平峠～御在所岳～根の平峠)	29	木	
12	月		30	金	
13	火	第4回運営委員会	編集後記 コロナの行動制限も無くなって漸く日常が戻って来ました。 山行計画も順調に消化しつつあります。 また賑やかな紙面が戻ってきて欲しいです。		
14	水				
15	木				
16	金				
17	土				
18	日	例会山行 赤兎山			
7月の予定					
2	日	例会 鈴鹿縦走 根ノ平峠～釈迦ヶ岳			
今月号と来月号の当番					
今月号は		K藤CL)・Yロー・Y口弥・A本・K藤・H浦・S井の皆さんです。			
来月号は		F川CL)・F野・H島・H池・N村・Y崎の皆さんです。			



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>